

Title	前號主要正誤
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1922
Jtitle	史学 Vol.2, No.1 (1922. 11) ,p.160- 160
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19221100-0161

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

よつて、米國史上最も重要な問題を自由自在に論究し、その結果は教壇に値する。吾人はこの書中屢々發見するアウター・ヒストリーの歴史觀によつて、大いに得る所あると共に、更に獨り來國人に對して米國史研究の必要を力説する所は我々日本人にとつても大いに傾聴に値する點と思はれる。(恒松安夫)

歴史に関する異論に就いて

歴史の如何なるものであるかは、大抵誰も一通りは知つてゐるさうで、實はあまりよく知られてゐない。それ故之に關して往々見當違ひの、そして而も頗る獨斷的の議論を見受ける事があります。それは如何にして起るかと思ふと、内田博士の尊敬すべき意見によると、少なくとも二つの理由があるさうです。『その一つは銘々の人が或る理想と現實とを能く區別致さぬ所から起りますので、即ち或る人は斯様でなければならぬと思ふものを描いてこれが歴史である、これにあてはまらぬものは歴史でない』之は現實の歴史を無視して哲學的思辯を好まれる人々の間によく見受けらるやうであります。『又他の人は是迄現にあるものを標準とし、理想を引ること違ひものでも、現に存する歴史が即ち歴史であるとして論を立つる。』史家の間に行はるゝ史學史(Historiography)といふのは、この變遷を記したもので、例へばモリソン、リッターの著した書名(Die Entwicklung der Geschichtswissenschaft an den führenden Werken betrachtet, 1919)の書名を譯して「歴史の發展を導く諸著者の著作を以てして」といふ譯が、居ります。博士は更に語をこぼして「カウペンハーゲン」

く歴史の何たるかを論ずるに當り、或る人は歴史の理想の教を説き、他の人は之れに反し是迄ある歴史の如何なるものたるかを述ぶるより、自然其の間に見解の相違を來たすのであらうと存じます。また第二には歴史といふ語が實際屢々色々の異つた意味に用ひらるるからして、歴史の何たるか、歴史の如何なるか、之が爲めに生じた見解の相違もあるやうである。』といふ譯が、居ります。之れは大に味ふべき言ではないでせうか。

(内田銀藏博士著史學理論より、まさき生)

前號主要正誤

- 埃及學の創立中一〇八頁下段十行目 象形文字を楔形文字に改め、同、十行目「大學」を省く。
- 一五二頁「維新前の宮廷生活」正誤表中 十五行目御門掌侍は衛門掌侍の誤。
- 「古代支那民族の祖先祭祀」中六七頁 曹の明星は曠の明星に改む。